

主義の大同團結を遂ぐ、其方法

(第一) 東京より秋幹部三四名大阪を中心とせし若地方に出張し、各地の穩健派の團體を訪問し、内訌會黨の整理、健全分子の結束、等を促すの爲めあり

(第二) 先づ整理と結束とが出来たならば次に其團體の基礎を堅實ならしむる爲めに基金の途を講じてやること

由來各穩健派の團體の不堅實にして不活動なるハ基金の途なきが爲めである、工場主に交

渉、馬志家の寄附、團體の附屬事業、こんな方法を立て、やらぬが穩健團體は函件が出来ないものがあります

(第三) は不安の除去、今日の留傷者は臍首臍給、これなことを不安の淵に沈んで居る、夫れが爲めに自衛の準備として過激派に共みし識りかゝ悪化するのべあります、彼等を不安の淵より救は和して只穩健にくと云つたところを夫れは甚だ差種な注文である、故に工場主と互一訪問し此の理解を求めて穩健派